



### 3学期始業式 校長先生のお話(抜粋)

1月15日(火)

平成の年も最後となり5月からは新しい年号となります。まわりの環境も大きく変化し、新しい波が押し寄せる躍動の年として誰もが期待しています。しかし、じっと待っていても良い波はきません。もととなる「夢や志」を持つことが大切です。

さて、今日は福島県に住む20才の女性の「言葉の幸せ」という短い作文を紹介します。

『忘れもしないあの日から5年以上の歳月が流れた。「逃げよう父さん、母さんも一緒に逃げよう」東日本大震災の翌日、親戚の叔父さんがトラック一杯に荷物を積んできた。「今なら間に合う」「恥ずかしいことはない」「命が大事、みんなで逃げよう」苦しい、息の詰まった時間が過ぎた。半壊した家で、「俺はいけない」父はつぶやいた。妹は泣いていた。「母さんも行こう」「ごめんね。私もいけない」たくさんの患者さんを置いてはいけないという意味だと感じた。クリニックを営む父は、患者さんからも、自分自身からも逃げられなかった。そして、母も父に付き添った。私と妹を乗せたトラックが走り出そうとしたとき、父は半分空いた窓から静かにある言葉を伝えた。「お前は生きろ。妹を頼む」そして、私と妹は逃げた。

あれから長い月日が経った。家族は生き延びた。町は復興し、人も戻ってきた。きれいになった建物から震災の悲しみを思い出すことはもうないだろう。記憶はゆっくりと遠のいていく。けれども私はあのときの父の言葉を忘れることができない。言葉に魂が宿るとき、その言葉は永遠になる。

以来、私は人の悪口を言うことをやめた。言葉を使うとしたら、その言葉は、誰かを勇気づけ、励まし、支え、信頼するために使いたい。そして言葉に宿る「小さい命」を幸せにしてあげたい。』

という内容です。みなさんも知っているように福島県は、震災だけでなく原子力発電による被害も大きく、当時の被害に遭われた方々の緊張感が「逃げる」という表現から伝わってきます。

「お前は生きろ。妹を頼む」実に短い父の言葉ですが、作者の心に魂となって残り、忘れられない永遠の言葉となりました。だからこそ、作者は、放つ言葉、一言一言の大切さを学んだのです。

たった一言が人の心を傷つける      たった一言が人の心をあたためる

東中生には、作者のように「誰かを勇気づけ、励まし、支え、信頼するために言葉を使ってほしい。」と思います。と同時に、幸せな言葉は、かけがえのない大切な命も育みます。相手も自分自身も傷つける「いじめ」ありません。どうぞ、一人一人が幸せになるように、三学期は意識して「言葉」を使ってください。

まだまだ、寒い日が続きますが、つらい、きびしい冬を乗り越えるからこそ、あたたかで、きらきらと輝く春が訪れたときの喜びは大きいものです。昨日全国優勝した山田高校サッカー部も私達と同じ環境の中で、きびしい冬、つらい練習に耐えたからこそ、日本一という輝かしい結果を残せたと思います。山田高校イレブンからパワーをいただきながら、今学期を実り多い学期にしていきましょう。

そして、3学期を終えたときには、今以上に、たくましくなった東中生となることを期待して、3学期始業式の挨拶とします

### 1年代表(1組 三國 舞由)発表(抜粋)

私は、三学期に達成したいことが2つあります。一つ目は、学年末テストのミスが減らすことです。その日に学んだことはその日のうちに復習し、苦手を残さないことです。テスト本番では見直しを上手にして、ひとつでも多く正解したいです。二つ目は、学級会長としてよりよい学級作りをするということです。1学年の課題である「5分前着席」「授業態度の改善」を目指し、全体に呼びかけたり、個人的に注意したりして、三学期という短い時間を、少しでも楽しく快適に暮らせるような学級にしたいです。これからも、日常を大切にして生活していきます。

## 2年代表(2組 飯田 杏)発表(抜粋)

三学期に頑張りたいことは2つあります。一つ目は、美化委員長としての役割を果たすことです。前期は3年生に頼っていましたが、後期からは2年生が頼られる存在にならないといけません。リーダーとしての自覚を持ち、的確な指示を出して委員会をまとめ、学校全体への呼びかけも行うよう努めます。二つ目は勉強です。もうすぐ受験となるので、わからないところや苦手な分野をなくすよう、復習に力を入れて取り組みます。2年生全体にとっては、3年生のゼロ学期となる重要な学期なので、一つ一つのことに全力で取り組んでいきます。

## 3年代表(3組 鳴海 芳郎)発表(抜粋)

僕はこの冬休みの間に、特に重点をおいて取り組んだことは、苦手教科である理科の復習です。元々あまり好きではなく、積極的に勉強することができていませんでした。しかし、このままではダメだと思い勉強時間を意図的に多く取りました。大まかにわかっているものの、細かいところまで確認できておらず、点数を伸ばせなかったのも、なぜこのような答えになるかという細かいところまで自分で調べたり、先生に積極的に聞いたりしました。その結果、成長してきたことを実感できました。生活面では、風邪やインフルエンザに気を付け、友達と過ごす時間を大切に、残り少ない中学校生活を有意義に過ごしたいと思います。1、2年生の皆さん、中学校生活の3年間はあっという間です。これからも気を引き締めて過ごしてください。そして3年生の皆さん、卒業までの仲間と共に過ごせるこの時間を大切に、自分の将来に向かって頑張っていきたいと思います。

## 第3回避難訓練(不審者対応訓練)

1月17日(木)

今回は、不審者が校内に侵入した場合を想定し緊急時の連絡・対応の仕方や自分の身を守るためのバリケード作りを練習しました。

不審者役の先生の迫真の演技と、取り押さえる先生方の活躍で緊張感に溢れた訓練となりました。

最後に生徒指導主事から、SNSトラブルも含めた危険予測・危機回避能力の大切さについて講話がありました。



## 入賞者紹介

### ◇全国学校図工・美術写真公募展(2年)

**奨励賞** 廣崎陽菜・飯田 杏・熊谷怜希・野呂唯佳  
**入選** 小塚愛梨・川村咲智・小堀望羽・澤田紅采  
嶋津光南

### ◇青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 作文部門優秀賞 2年 小笠原 未久

### ◇青森県中学校選抜美術展

**特選** 3年 今 菜々美(デザイン)  
**入選** 3年 清藤綺心・大貫マリツア(デザイン)  
2年 川村咲智・嶋津光南・小堀望羽  
亀田萌笑(彫刻)

### ◇青森市中学生文芸発表会

**最優秀賞** 俳句の部 1年 鈴木文也  
**優良賞** 詩の部 2年 三上耕平  
短歌の部 3年 小山華林  
**奨励賞** 作文の部 3年 小山華林  
書写半紙の部 1年 千代谷和奏

### ◇青森県少年防犯作文コンクール

**努力賞** 2年 佐藤加奈

## 2月の予定

4日(月)給食費再振替日  
3学年PTA  
4日(月)～7日(木)5時間授業  
5日(火)諸費再振替日  
6日(水)第3回学校評議員会  
7日(木)3学年期末テスト  
12日(火)～13日(水)ALT来校  
13日(水)私立高等学校入学検査日  
新入生説明会  
16日(土)数学検定  
20日(水)私立高等学校合格発表日  
SC来校  
25日(月)～27日(水)ALT来校  
27日(水)1・2学年期末テスト  
3学年模擬テスト  
給食費振替日  
(調整額になります)  
28日(木)生活に関するアンケート